

伯父の墓参りに勝浦へ。 母が楽しみにしていたドライブです

おおば さとる
大庭 聡さん (東京都八王子市)



発売と同時に購入した、電気自動車(EV)・日産リーフを駆って、母の兄の墓参りのため、千葉県勝浦へのドライブを計画した大庭聡さん。「心配していた充電も問題なく、快適なドライブを楽しむことができました」と笑顔で語ってくれました。

有料老人ホームに入居した母

大庭聡さん(52歳)は父が亡くなってから5年間、八王子市で母・初枝さん(82歳)と二人暮らしをしていた。40代の後半に脳溢血で倒れ、以後左半身が

不自由となった初枝さんだが、デイサービスに通ったり、ホームヘルパーの助けを借りながら、聡さんが仕事で不在の日中も、大きな支障なく日常生活を送っていた。

ところが、ここ数年、加齢とともに下肢が弱り、車いすの生活となっていた。



急速充電器を使えば、バッテリー残量警告灯点灯から80%充電まで、約30分で行うことができる。

「浴室を改修するなど、ある程度、家はバリアフリーにしていたのですが、僕がいないときに何かあってはまずいので、昨年の12月、有料老人ホームに入居してもらいました」

施設の場所は、家の近くの八王子市内。「同じ世代の方も多いので、話し相手があり、母もホームでの生活を楽しくできているようです」

試乗会で日産リーフを体験、購入を決断

今年3月、リーフアンシャンテ 助手席回転シートを購入するまで、聡さんはウイングロードに乗っていた。「父の墓参りに静岡県浜松に行くことはありませんでした」。姉の匡子さんが回転シート付きのクルマに乗っていたので、買い物などへはそちらに乗ることが多かったという。

ウイングロードに乗って12年、そろそろ買い換えようと考えていた聡さんの耳に飛び込んできたのが「日産リーフ新発売」の情報。「せっかく買うなら、



急速充電器。今後ネットワーク網の充実が期待される。

これからの時代に合った、環境にやさしいクルマにしたい」と思っていた聡さんは、まずは自身で試してみようと試乗会に参加した。

「実際に試乗したのはプロトタイプでしたが、驚くほど静かでスムーズな走りなので、すぐに購入を決断しました」

購入にあたっては、初枝さんが乗り降りしやすいよう、リーフアンシャンテ 助手席回転シートを選択した。「母は姉のクルマで助手席回転シートに慣れていたので、同様のものになりました」

航続距離の不安も解消

購入して4か月、初枝さんとの初めての長距離ドライブとなるのが、今回の



高速道路を快適にドライブ。



回転シートのストラップを軽く引っ張り、シートを回転させ、初枝さんを車いすに移乗させる。シートは標準車のデザイン・シート地を生かしているため、高い質感を保っている。

勝浦ツアーだ。姉の匡子さんも参加して、午前10時に八王子をスタート。途中の木更津で急速充電を行うことにした。

大きな渋滞もなく、充電地の木更津に到着したのは、正午過ぎ。さっそく充電すると、45%もの充電量が残っていた。「意外ともつものなのですね。一番の心配は航続距離だったのですが、そんな不安も解消しました」

ひと休みした後、勝浦に向け出発。途中で昼食をとり、勝浦で墓参りをした後、木更津に戻り1泊するという。

「夏休みシーズンの週末ということもあり、勝浦でバリアフリーの宿がとれなかったため、木更津泊まりとしました」

久びさの長距離ドライブだったが、



初枝さんの車いすは、ラゲッジルームに収納する。

初枝さんは元気そのもの。「静かで乗り心地満点。行ってきま〜す」——皆さん、元気に手を振ってくれました。

取材協力:日産プリンス西東京販売 八王子東浅川店
千葉日産 木更津店

リーフアンシャンテ 助手席回転シート

外向きに55°回転するシートと大きく開くドアで、乗り降りがスムーズ。標準車プラス8.4万円で購入できます。



詳しくは、WEBまたはカタログで
▶▶▶ LV.nissan.co.jp

*カタログの請求は本誌添付ハガキでもできます。



途中、バリアフリートイレのある「ふれあいパークきみつ」でトイレ休憩。